

海員組合の元執行部・金森洋輔氏が講演①

自身の歩みを振り返りながら、日本の遠洋漁業と船員の歴史を語る
戦後の船員が日本の食を支えてきたことを伝えたい

7 月 12 日、広島県尾道市向島町の尾道市民センターむかいしま「こころ」で、向島公民館サークル「今を楽しもう会」の主催する講演会が開催され、元組合執行部の金森洋輔さんが『獲物を追って（遠洋トロール）激闘 海に生きた男の記録』をテーマに講演し、約 100 人が耳を傾けた。「今を楽しもう会」は、お互いに「与えあい・助け合い・喜び合い」の思いを、年齢を問わず共有し、親睦や交流を深め合うことを目的として設立された。各分野から講師を招き、その経験談を聴くことで、お互い元気になれるよう活動を展開し、これまでの活動が、文部科学省の生涯学習に適うと認定されている。

金森洋輔さんの紹介

金森洋輔さんは、1968 年（昭和 43 年）3 月に国立東京水産大学（現：国立大学法人東京海洋大学）漁船運用学専攻科を卒業後、同年 4 月に日魯漁業株式会社に入社し、遠洋トロール船の航海士として極寒のベーリング海や灼熱のアフリカ大陸東海岸、カナリア諸島、アラビア海で魚を追い求めてきた。1979 年（昭和 54 年）4 月に全日本海員組合函館支部の在籍専従執行部員として、組合執行部としての活動をスタートし、築地支部次長、三崎支部長、本部漁船部部長、未組織対策室室長代行を経て、1997 年（平成 9 年）8 月に尾道支部長に就任した。全日本海員組合を退職後は、一般財団法人尾道海技学院の職員として船員の育成や海上技術の向上に努め、2013 年（平成 25 年）には、春の叙勲で旭日双光章を授与された。現在は一般財団法人尾道海技学院の顧問としてご活躍されている。

「海員だより」